

環境学習プログラムの実施例

No.01

校庭（身の回り）の生きものさがし

所要時間	1 時限または 2 時限
場所	校庭や学校付近の公園など、教室
内容	園庭や校庭、付近の公園などで、季節の生きものをさがす。採捕後、種名や生態、特徴を図鑑などで調べる。
学校が準備するもの	生きものを捕まえるのに必要なもの（網、カゴなど）、図鑑、帽子 あと良いもの：虫眼鏡
材料費	不要
教科書の学習内容との関連	身近な場所で生きものをさがし、実施に擬態している様子やどのようなすみかにいるのかを、子どもたちと一緒にみつけることで、学びを深める。併せて、飼育可能な生きものなのかどうかについても考える。
出張講師	はぐくみプロジェクト 村越 真由加 畑 早穂子



No.04

「共生」について考えよう

所要時間	1 時限または 2 時限・磯の観察を組み合わせれば半日
場所	教室・（時間に余裕があれば干潮時の磯）
内容	生きものの共生について知っている例を子どもが発表し、かつては特殊な例として扱われていた「共生」が、実は普遍的な現象であったことに気づく。多様な生物が互いに協力して生きる力を増していることを理解する。
学校が準備するもの	パワーポイントを映写できる環境（プロジェクタ・電子黒板・モニタなど） 磯の観察を実施するなら観察用水槽、テーブルナイフ、手網など
材料費	不要
教科書の学習内容との関連	小4 国語「ヤドカリとイソギンチャク」を題材に「共生」について掘り下げる。必要なら、多様な個性が共存することが社会の安定や持続可能性を増しているという話に展開することも可能。
出張講師	四国海と生き物研究室 岩瀬 文人

No.02

学校移動博物館

所要時間	標本展示：5 日間 授業：1 時限
場所	理科室など（要相談）
内容	小中学校単独では整備が困難な、高知県内のさまざまな動物の実物標本を展示し、自然環境に関する研究者が学校に赴いて、校舎内で学校移動博物館を開催する。 1. 学校毎の開催期間は 5 日とする。 2. 月曜に搬入設営、火・水・木曜にワークシートを用いる学校独自の学習。 3. 金曜に講師がワークシートの答え合わせをしながら、展示解説する。 4. 解説終了後、撤収搬出する。
学校が準備するもの	特になし
材料費	展示機材運送費等（応相談）
教科書の学習内容との関連	動物標本を中心に構成した展示機材を用いて、動物の生態を学ぶとともに、観察することの大切さに気づく。
出張講師	認定特定非営利活動法人 四国自然史科学研究センター 谷地森 秀二



No.05

川の生きもの調べ

所要時間	2 時限
場所	河川（瀬のあるところが望ましい）・まとめをする場所（河原・学校・公民館等）
内容	1. 水生昆虫を中心とした河川底生生物の解説、採取方法の解説（10 分） 2. 実際に川に入り、生きものを採取。（30～45 分） 3. 水温・川の様子、川の周りの様子などを調査票に記入する。 採取した生きものを観察し、生きものの名前を調査票に記入する。（30～45 分） 4. 指標生物を用いて水質判定をする。（5 分） 5. 川の周りの様子との関係を考える。
学校が準備するもの	網、バケツ、バット、ピンセット、水温計 など ※えこらぼで貸出をしています。
材料費	なし
教科書の学習内容との関連	川に入って生きものを採取し、身近な川にすむ生き物の名前を知り、河川水質を判定する。また、川を五感で感じ取り、川と川の周りの環境を考える。
出張講師	水生生物研究家 石川 妙子

No.03

学校のまわりの生きものを調べよう

所要時間	2 時限 × 2 回
場所	学校周辺の森林・教室
内容	自動撮影装置を仕掛けて、約一ヶ月間撮影し、画像を見る。
学校が準備するもの	救急箱（擦り傷・切り傷・とげ刺さり・打ち身などへの対応） 森林の持ち主に、無人カメラ設置の許可を取り付けておいてもらいたい。
材料費	不要
教科書の学習内容との関連	自分が暮らすまわりにどんな生きものがあるかを知り、身近な生きものの生態への関心を深める。
出張講師	認定特定非営利活動法人 四国自然史科学研究センター 谷地森 秀二



No.06

健全な水環境（水のサイクル）、～水がきれいになる仕組みと浄化槽の役割

所要時間	1 時限または 2 時限
場所	教室
内容	台所、風呂、便所、洗面等から排出される汚水の汚れを簡易水質検査キットで測定し、川や海に与える影響について知るとともに、魚がすめる環境を維持するために私たちができることを考える。 川の自浄作用を利用した浄化槽の仕組みについて学び、顕微鏡で河川や浄化槽の中で水の汚れを分解する微生物を観察し、身近な水環境について学ぶ。
学校が準備するもの	プロジェクタ、スクリーン等
材料費	なし
教科書の学習内容との関連	家庭排水を処理する浄化槽について学び、これらの対策や事業が地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解する。
出張講師	一般財団法人 高知県環境検査センター